

第3学年 音楽科年間指導計画 (60時間①21②30③9)

月	題材名	学習目標・学習活動	時数	評価規準	関連・系統
4 (4)	<導入> 「小さな世界」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ・旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	随時	<p><知①> 「小さな世界」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p><技①> 互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さな世界」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p> <p><思①> 「小さな世界」の旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主①> 「小さな世界」の歌詞の持つメッセージを、歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・A】 青空へのぼろう アニーローリー</p> <p>【中三・A】 旅立ちの日に 帰れソレントへ</p>
	<スキルアップ> 「アラムサムサム」	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。 ・旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	随時	<p><知①> 「アラムサムサム」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p><技①> 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「アラムサムサム」を歌う技能を身に付けている。</p> <p><思①> 「アラムサムサム」の旋律の重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主①> 「アラムサムサム」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	
	<スキルアップ> <リズムなかま>で楽しもう！	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付く。 ・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 ・リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	随時	<p><知①> リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付いている。</p> <p><技①> 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p><思①> リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主①> リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	

	<こっぼんのうた みんなのうた> 「春の小川」(共通教材)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ・旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	2	<p><知①> 「春の小川」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p><技①> 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「春の小川」を歌う技能を身に付けている。</p> <p><思①> 「春の小川」の旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主①> 「春の小川」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・D】 夏の思い出 赤とんぼ</p> <p>【中二・D】 浜辺の歌 早春賦</p> <p>【中三・D】 花 荒城の月</p>
5 (4)	楽ふとドレミ	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。 ・旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	4		
	キラキラおひさま	<p>○<楽ふのお話>のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。</p> <p>○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。</p>	2	<p><技①> 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして「キラキラおひさま」を歌う技能を身に付けている。</p> <p><主①> ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	
	ドレミの歌	<p>○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞唱する。</p> <p>○「ドレミの歌」を二部合唱する。</p>	2	<p><知①> 「ドレミの歌」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p><思②> 「ドレミの歌」の旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>【中一・中二・中三 G】 校内合唱コンクール 卒業式 式歌</p>
	<こっぼんのうた みんなのうた> 「茶つみ」(共通教材)	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ・旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 	2	<p><知①> 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p><技①> 互いの歌声や伴奏を聴いて、「茶つみ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p> <p><思①> 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて</p>	<p>【中一・D】 夏の思い出 赤とんぼ</p> <p>【中二・D】 浜辺の歌 早春賦</p> <p>【中三・D】 花 荒城の月</p>

		<p>・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>		<p>いて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 「茶つみ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	
6 (6)	<p><こんにちは リコーダー></p>	<p>・リコーダーの音色と演奏の仕方との関わり気付く。</p> <p>・音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。</p> <p>・リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだし聴いたりする。</p> <p>・リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	2	<p>〈知①〉 リコーダーの音色と「シシシでおはなシ」の演奏の仕方との関わり気付いている。</p> <p>〈技①〉 音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き音を合わせて「ゆかいなまきば」を演奏する技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。</p> <p>〈思①〉 リコーダーの音色、各曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見いだし聴いている。</p> <p>〈思②〉 リコーダーの音色、「にじ色の風船」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中二】 誰も知らない私の悩み レヴェルプレイン オーラ・リー</p>
7 (6)	<p>歌声ひびかせて</p> <p>この山光る ◎ホルディリディア</p>	<p>・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり気付く。</p> <p>・呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。</p> <p>・旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>・旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p> <p>○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌詞唱する。</p> <p>○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。</p> <p>○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。</p>	2	<p>〈知①〉 「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり気付いている。</p> <p>〈主①〉 旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>〈思①〉 「この山光る」の旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったこ</p>	<p>【中一・中二・中さん G】 校内合唱コンクール 卒業式 式歌</p>

				とと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 <技①> 呼吸及び発音の仕方に気を付け、「この山光る」を自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	
	<音のスケッチ> いろいろな声で表げんして遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。 ・設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 ・声による表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	3	<知①> さまざまな声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 <技①> 設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。 <思①> 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。 <主①> 声による表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	【中一・E】 擬声語や擬態語を活用する音楽づくり 【中二・B】 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作 【中三・E】 短い旋律の反復を活用した音楽づくり
8、9(9)	<こつぽんのうた みんなのうた> 「うさぎ」(共通教材)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ・旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	1	<知①> 「うさぎ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて気付いている。 <技①> 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「うさぎ」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 <思①> 「うさぎ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 <主①> 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	【中一・D】 夏の思い出 赤とんぼ 【中二・D】 浜辺の歌 早春賦 【中三・D】 花 荒城の月
	<めざせ 楽き名人> 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。 ・互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 ・音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たりする。 	毎時	<知①> リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりについて気付く。 <技①> 互いの音を聴きながら演奏する技能や、条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 <技②> 互いの音や伴奏を聴きながら「レッツゴー ソーレー」を演奏する技能を身に付ける。 <思①> 音色や「レッツゴー ソーレー」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、	

		<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 		<p>どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	
	<p>せんりつの流れとへん化</p> <p>◎ユモレスク ◎白鳥</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わり気付く。 ・楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、曲のよさを見いだし曲全体を味わって聴く。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 <p>○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。</p> <p>○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。</p> <p>○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。</p> <p>○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。</p>	<p>3</p> <p>2</p>	<p>〈主①〉 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>〈思①〉 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>〈知①〉 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わり気付いている。</p> <p>〈思②〉 チェロの音色、「白鳥」の旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>【中一・F】 鑑賞：魔王 【中三・F】 オペラ「アイダ」から バレエ「白鳥の湖」</p>
10 (9)	<p>遊び歌めぐり</p> <p>◎日本や世界の子ども歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付く。 ・拍に合わせて歌ったり遊んだりする技能を身に付ける。 ・旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだし聴いたりする。 ・日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 <p>○「十五夜さんのもちつき」と「キパパーキ・パピシ」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合せして遊ぶ。</p> <p>○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。</p> <p>○「陽気なかじや」を手合せして遊ぶ。</p> <p>○「日本や世界の子ども歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違い</p>	<p>2</p> <p>2</p>	<p>〈知①〉 「十五夜さんのもちつき」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付いている。</p> <p>〈主①〉 日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p>〈技①〉 拍に合わせて「陽気なかじや」を歌ったり遊んだりする技能を身に付けている。</p>	

		を感じ取る。		<p>〈思①〉 「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだし、聴いたりしている。</p>	
	<p><にっぽんのうた みんなのうた> 「ふじ山」(共通教材)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ・旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	2	<p>〈知①〉 「ふじ山」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>〈技①〉 呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>〈思①〉 「ふじ山」の旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 「ふじ山」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・D】 夏の思い出 赤とんぼ</p> <p>【中二・D】 浜辺の歌 早春賦</p> <p>【中三・D】 花 荒城の月</p>
11 (6)	<p>曲に合った歌い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、互いの声や音を聴きながら楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。 ・フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ・曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	4		
	<p>森の子もり歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表わす情景を思い浮かべて歌う。 ○ 「森の子もり歌」を合唱奏する。 	2	<p>〈知①〉 「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>〈技①〉 互いの歌声や伴奏を聴いて、「森の子もり歌」を声を合わせて歌う技能や、互いの声や音を聴きながら楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。</p>	<p>【中三・A】 旅立ちの日に 帰れソレントへ</p>

	雪のおどり	<p>○「雪のおどり」を、言葉の響きや反復の面白さを感じながら輪唱する。</p> <p>○「雪のおどり」を伴奏と合わせて輪唱する。</p>	2	<p><思-①> 「雪のおどり」のフレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主-①> 「雪のおどり」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	
12 (8)	<音のスケッチ> チャチャチャのリズムで遊ぼう	<p>・ラテンのリズムの反復や重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。</p> <p>・音楽の仕組みを用いてリズム伴奏やリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。</p> <p>・ラテンのリズムの反復や重なり、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだし聴いたりする。</p> <p>・リズムや旋律の、反復や重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	3	<p><知-①> ラテンのリズムの反復や重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p> <p><技-①> 音楽の仕組みを用いてリズム伴奏やリズムアンサンブルをつくる技能を身に付けている。</p> <p><思-①> ラテンのリズムの反復や重なり、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだし聴いたりしている。</p> <p><主-①> リズムや旋律の、反復や重なり興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・B】 日本語の抑揚を活用する旋律づくり</p> <p>【中三・B】 言葉のリズムや重なり方を活用する旋律づくり</p>
1 (3)	アンサンブルの楽しさ	<p>・曲想と声部の役割など音楽の構造との関わり気付く。</p> <p>・互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>・旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだし聴いたりする。</p> <p>・曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	3		
	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	<p>○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。</p> <p>○「せいじゃの行進」の主旋律と副旋律のパートを楽器で演奏する。</p> <p>○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。</p>	3	<p><思-①> 鑑賞曲「せいじゃの行進」の旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさや面白さを見いだし聴いている。</p> <p><技-①> 互いの楽器の音を聴き、「せいじゃの行進」を音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p> <p><知-①> 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わり気付いている。</p> <p><主-①> 「せいじゃの行進」の曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中二】 誰も知らない私の悩み レヴェルプレイン オーラ・リー</p>

	<p><めざせ 楽き名人> 「あくびの歌」 「冬さん、さようなら」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの音色と演奏の仕方との関わり気付く。 ・音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 ・リコーダーの音色、旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 ・リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 		<p><知①> リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わり気付く。</p> <p><技①> 音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p> <p><思①> リコーダーの音色、「冬さん、さようなら」の旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p><主①> リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	
2 (3)	ききどころを見つけて	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わり気付く。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 ・楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 	3		
	◎組曲「アルルの女」から	<ul style="list-style-type: none"> ○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。 	3	<p><主①> 「メヌエット」に登場する楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> <p><知①> 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わり気付いている。</p> <p><思①> 楽器の音色、「ファランドール」の旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わっている。</p>	<p>【中一・C】 「春」第1 楽章 「秋」第1 楽章</p> <p>【中二・C】 鑑賞：ポレロ 火星</p> <p>【中三・C】 ブルダウ（モルダウ） 交響詩フィンランディア</p> <p>【中二・F】 交響曲第5 番八短調 小フーガ短調</p>
	みんなで合わせて	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり気付く。 ・互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように 	3		

	パフ	<p>演奏するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>・音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p> <p>○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌詞唱える。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。</p>	3	<p>〈知①〉 「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>〈技①〉 互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて「パフ」を演奏する技能を身に付けている。</p> <p>〈思①〉 「パフ」の旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 音を合わせて「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	
3 (3)	<p>〈音のスケッチ〉 音のひびきや 組み合わせを楽しもう</p>	<p>・各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。</p> <p>・音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>・楽器の音色や響きの長短、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>・素材ごとの楽器の響きの違いを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	2	<p>〈知①〉 各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。</p> <p>〈技①〉 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p>〈思①〉 楽器の音色や響きの長短、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>〈主①〉 素材ごとの楽器の響きの違いを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・E】 擬声語や擬態語を活用する音楽づくり</p> <p>【中二・B】 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作</p> <p>【中三・E】 短い旋律の反復を活用した音楽づくり</p>
	<p>〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」</p>	<p>・曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。</p> <p>・楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。</p> <p>・各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。</p>	2	<p>〈知①〉 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>〈思①〉 各楽器の音色、「ピーターとおおかみ」の各旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>〈主①〉 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>【中一・C】 「春」第1 楽章 「秋」第1 楽章</p> <p>【中二・C】 鑑賞：ポレロ 火星</p> <p>【中三・C】 ブルダウ（モルダウ） 交響詩フィンランディア</p> <p>【中二・F】 交響曲第5 番八短調 小フーガ短調</p>

